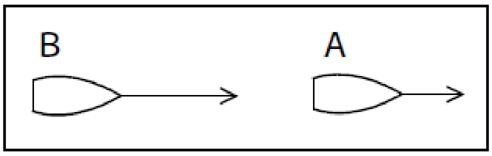
【交通の方法】

問 13　行き会い船・追い越し船

①右図に示すように、広い水域において、航行中のA船がB船に追い越される場合、A船の航法として正しいものは、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)



(1) Bが針路を転じた側と反対側に舵(かじ)を取り、停止する。
(2) 早めに大きく左転をして、Bに進路を譲(ゆず)る。
(3) Bに注意しながら、針路と速力を保って航行する。
(4) 針路を保ったまま速力を落とし、Bが通り過ぎるのを待つ。

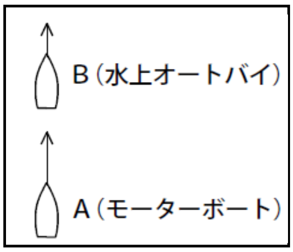
∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴**答 (3)**

②広い水域において、他の船舶に追い越される船舶の航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(1) 針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
(2) 追い越される側の反対側に針路を転じる。
(3) かろうじて舵が効く程度まで速力を落とす。
(4) エンジンを停止して、追越し船が通り過ぎるのを待つ。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴**答 (1)**

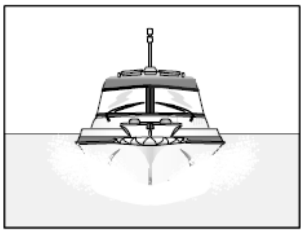
③右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越す場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) Aは、Bに十分近づいてから追い越す。
(2) Aは、Bの進路を避けて航行する。
(3) Bは、速力を保ち、針路を変更する。
(4) Bは、できる限り早めに停止する。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴**答 (2)**

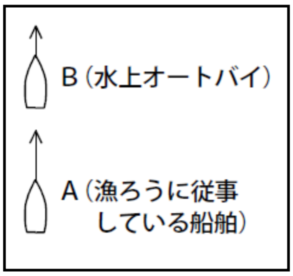
④航行中のA動力船が、その正船首方向に右図に示すような態勢で近づいてくる他の動力船を認め、衝突するおそれがあるとき、A船はどのように操船しなければならないか。次のうちから選べ。　(海上衝突予防法)



(1) 大幅に左転して、他船の進路を避ける。
(2) 早めに、大角度の右転をして、他船の進路を避ける。
(3) 針路を保ったまま、舵(かじ)が効く程度まで速力を落とす。
(4) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴**答 (2)**

⑤右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法としてEしいものは、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)



(1) Aは、Bの動きを確認するため速力を上げて近づく。
(2) Aは、できる限りBに近づいてから追い越す。
(3) Bは、Aの進路を避けて航行する。
(4) Bは、針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴**答 (4)**

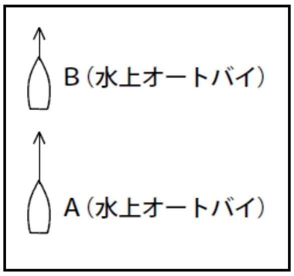
⑥行会い船の航法について述べた次の文の(　　)の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「2隻の動力船が真向かいに行き会い衝突するおそれがあるとき、各動力船はそれぞれ針路を(　　)に転じなければならない。」
(海上衝突予防法)

(1) 風上　(2) 風下　(3) 右　(4) 左

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴**答 (3)**

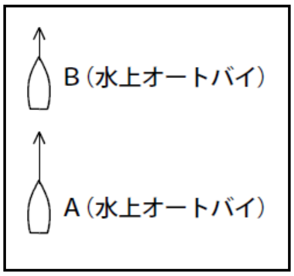
⑦右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。
(海上衝突予防法)



(1) Aは、針路を保って航行しなければならない。
(2) Bは、針路、速力を保ち、十分に注意して航行しなければならない。
(3) Aは、早めに速力を落として航行しなければならない。
(4) Bは、できる限り早めに停止しなければならない。

∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・**答 (2)**

⑧右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。
(海上衝突予防法)



(1) Aは、Bの動きを確認するため速力を上げて近づく。
(2) Bは、針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
(3) Aは、できる限りBに近づいてから追い越す。
(4) Bは、追い越される反対舷(げん)側に転舵(てんだ)する。

∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・**答 (2)**

⑨航行中の2隻の船舶に衝突のおそれがあるとき、互いに針路を右に転じなければならないのは、次のうちどの場合か。
(海上衝突予防法)

(1) 動力船と動力船が真向かいに行き会う場合
(2) 帆船と帆船が真向かいに行き会う場合
(3) 運転不自由船と帆船が真向かいに行き会う場合
(4) 漁ろうに従事している船舶と操縦性能制限船が真向かいに行き会う場合

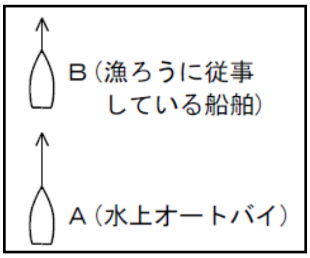
∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・**答 (1)**

⑩航行中の2隻の動力船が真向かいに行き会い衝突するおそれがある場合、両船が互いにとらなければならない航法として正しいものは、次のうちどれか。 **(海上衝突予防法)**

(1) 針路、速力を保つ。　(2) 針路を左に転じる。
(3) 針路を右に転じる。　(4) 速力を落とす。

∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・**答 (3)**

⑪右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越す場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)



(1) AはBの動きを確認するため速力を上げて近づく。
(2) Bは針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
(3) AはできるだけBのすぐそばを追い越す。
(4) Bは操業を一時やめて、直ちに停船する。

∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・**答 (2)**

⑫2隻の船舶の間に衝突のおそれがあるとき、互いに針路を右に転じなければならないのは、次のうちどれか。
(海上衝突予防法)

(1) 帆船が動力船を追い越す場合　(2) 帆船と帆船が真向かいに行き会う場合
(3) 動力船が帆船を追い越す場合　(4) 動力船と動力船が真向かいに行き会う場合

∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・**答 (4)**

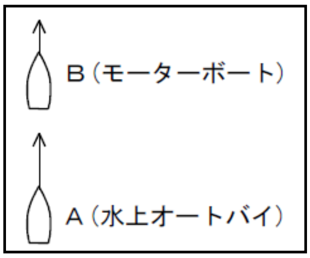
⑬行会い船の航法について述べた次の文の(ア)と(イ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものは、下のうちどれか。
(海上衝突予防法)

「互いに他船の(ア)舷(げん)側を通過するよう、針路を(イ)に転じなければならない。」

(1) ア：左 イ：左　(2) ア：右 イ：左　(3) ア：左 イ：右　(4) ア：右 イ：右

∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・∵・∴・**答 (3)**

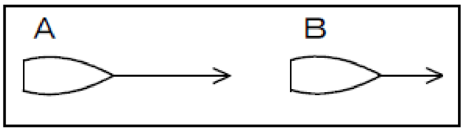
⑭右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)



(1) Bは追い越される舷の反対側に転舵する。
(2) AはBの進路を避けて航行する。
(3) Aはできるだけ早めに速力を上げてBに近づく。
(4) Bはできるだけ早めに停船する。

∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴**答 (2)**

⑮右図に示すように、広い水域において、航行中のＡ船がＢ船を追い越す場合、Ａ船の航法として誤っているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(１) 自船が追越し船であるかどうかを確かめられないときは、追越し船と判断する。
(２) Ｂに十分に近づいてその動きを確認した後、追越しを開始する。
(３) Ｂとの間に安全な距離を保って、確実に追い越す。
(４) 追い越した後は、十分に遠ざかるまでＢの進路を避けて航行する。

∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴**答 (2)**

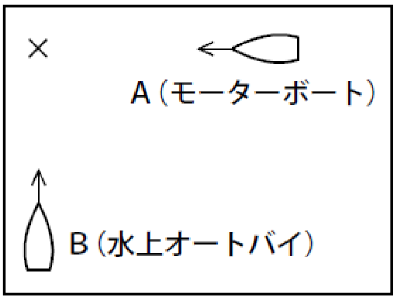
問 14　横切り船・避航船・保持船

①航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがあるとき、他の動力船の進路を避けなければならない動力船は、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)

(1) 他の動力船より動きがよい動力船　(2) 他の動力船よりも大きな動力船
(3) 他の動力船を右舷側に見る動力船　(4) 他の動力船を先に認めた動力船

∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴**答 (3)**

②右図に示すように、航行中の2隻の船舶が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) Aはエンジンを停止して、Bが通り過ぎるのを待つ。
(2) Bは速力を上げて、Aの船首方向を横切る。
(3) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(4) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。

∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴**答 (4)**

③航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがある場合、他の動力船の進路を避けなければならない動力船は、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)

(1) 他の動力船を左舷側に見る動力船　(2) 他の動力船よりも速い動力船
(3) 他の動力船を右舷側に見る動力船　(4) 他の動力船よりも小さい動力船

∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴**答 (3)**

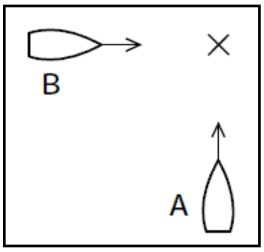
④横切り船の航法について述べた次の文の(　　)の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがあるとき、その針路及び速力を保たなければならないのは、他の動力船を(　　)に見る動力船である。」　(海上衝突予防法)

(1) 風上側　(2) 風下側　(3) 右舷側　(4) 左舷側

∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴・・・∵・・・∴**答 (4)**

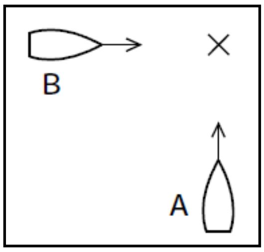
⑤右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるとき、A船はB船の短音1回の汽笛信号を聞いた。この場合、A船はどのようにしたらよいか。次のうちから正しいものを選べ。　　　　　(海上衝突予防法)



(1) エンジンを停止して、Bの通過を待つ。
(2) 速力を上げながら右転して、Bの船首方向を通過する。
(3) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
(4) 針路を左に転じて、Bの船尾方向を通過する。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

⑥右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるとき、B船はどのようにしたらよいか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)



(1) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
(2) 右転して、Aの船尾方向を通過する。
(3) 速力を上げて、Aの船首方向を横切る。
(4) 急速に短音5回以上の汽笛信号を行う。

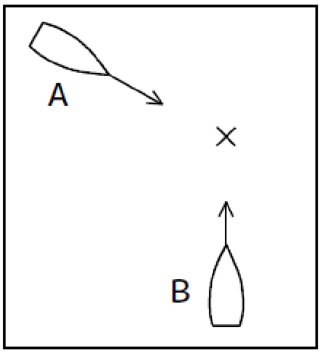
∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

⑦衝突を避けるための動作をとる際の注意事項として誤っているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(1) 避航動作は早めに行う。　　(2) 速力の変更は少しずつ行う。
(3) 針路の変更は大幅に行う。　　(4) 他船との距離は十分に離す。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

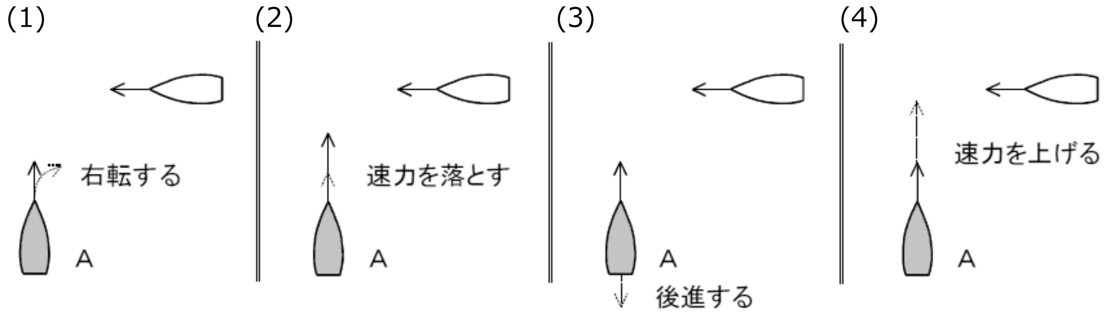
⑧右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがある場合、A船が適切な避航動作をとっていないことが明らかになったため、B船が衝突を避けるための動作をとるときは、やむを得ない場合を除き、どのようなことをしてはならないか。次のうちから選べ。　　　(海上衝突予防法)



(1) 針路を右に転じること
(2) 針路を左に転じること
(3) エンジンを停止すること
(4) エンジンを後進にかけること

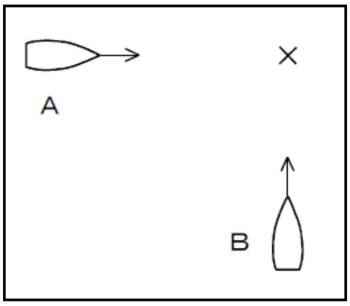
∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

⑨下図は、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがある場合のA船の動作の具体例を示したものである。やむを得ない場合を除き、A船がとってはならない避航動作はどれか。　　　(海上衝突予防法)



∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

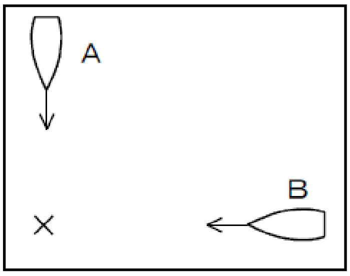
⑩右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)



(1) Aは針路、速力を保ち、BがAの進路を避ける。
(2) Bは針路、速力を保ち、AがBの進路を避ける。
(3) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
(4) Aは速力を上げて、Bの船首方向を横切る。

……答 (2)

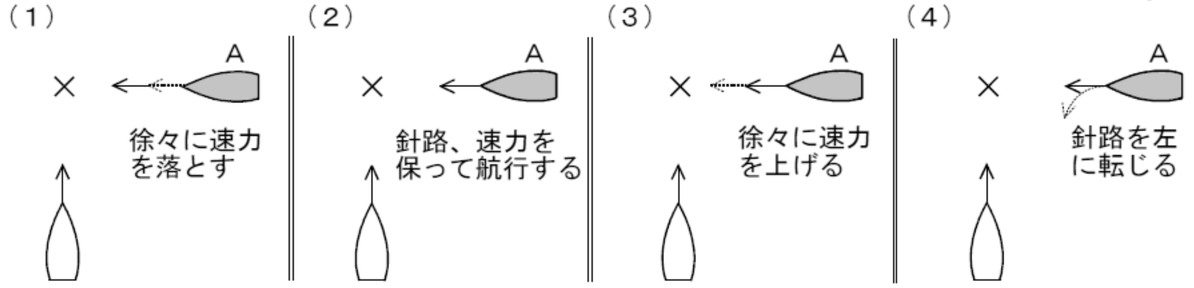
⑪右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)



(1) Aは針路、速力を保ち、BがAの進路を避ける。
(2) Bは針路、速力を保ち、AがBの進路を避ける。
(3) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
(4) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

……答 (1)

⑫下図は、航行中の２隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときのＡ船の動作の具体例を示したものである。Ａ船の動作として正しいものはどれか。　(海上衝突予防法)



……答 (2)

⑬横切り船の関係にある２隻の動力船のうち、避航船が保持船に対して、やむを得ない場合を除きとってはならない動作は、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)

(１) 針路を左に転じること　(２) 船尾方向を横切ること
(３) 船首方向を横切ること　(４) エンジンを後進にかけること

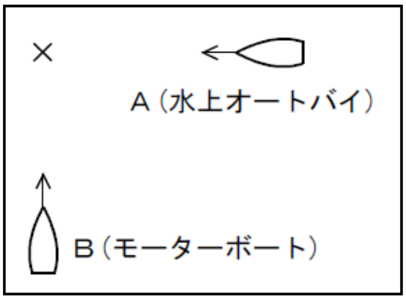
……答 (3)

⑭衝突を避けるための動作をとる際の注意事項として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(１) 他船に十分近づいてから行う。
(２) 速力を変更するときは、徐々に行う。
(３) 針路の変更は、できるだけ小さな角度で行う。
(４) 他船との間に安全な距離を保って通過できるように行う。

……答 (4)

⑮右図に示すように、航行中の２隻の船舶が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。（海上衝突予防法）

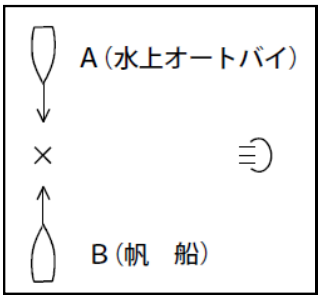


（１） Aは速力を上げて、Bの船首方向を横切る。
（２） A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
（３） AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
（４） BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。

……答 (4)

問 15　各種船舶間の航法

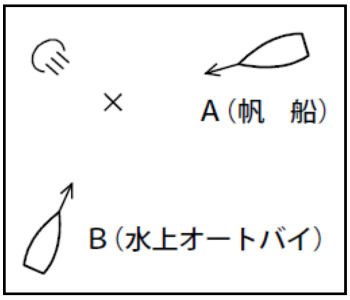
①右図に示すように、航行中の2隻の船舶が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) Bは風下側に転舵して、Aは風上側に転舵する。
(2) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(3) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(4) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。

……答 (3)

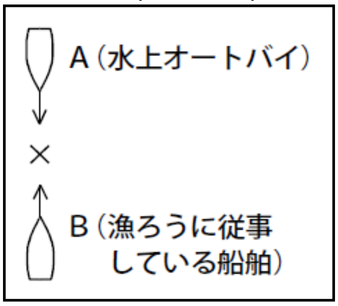
②右図に示すように、航行中の2隻の船舶が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) Aは風下側に転舵して、Bは風上側に転舵する。
(2) A、Bともに風下側に転舵して、他船の進路を避ける。
(3) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(4) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。

……答 (4)

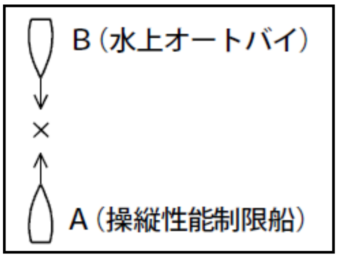
③右図に示すように、航行中の2隻の船舶が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。　　　　　(海上衝突予防法)



(1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
(3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

……答 (1)

④右図に示すように、航行中の2隻の船舶が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。　　　　　(海上衝突予防法)



(1) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(2) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
(3) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(4) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。

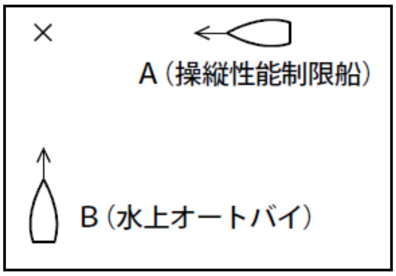
……答 (4)

⑤海上衝突予防法の規定上、水上オートバイは次のどの船舶に該当するか。

(1) 特殊高速船　(2) 動力船　(3) 水上航空機　(4) エアクッション船

……答 (2)

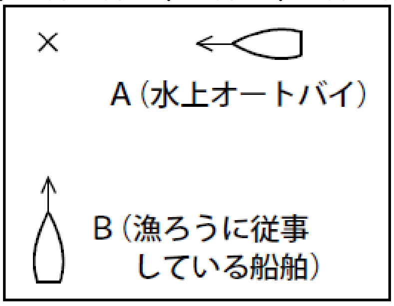
⑥右図に示すように、航行中の2隻の船舶が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
(3) Bは速力を上げて、Aの船首方向を横切る。
(4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

…………答 (2)

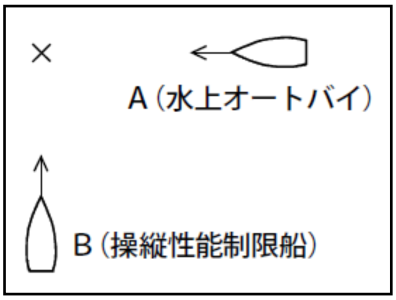
⑦右図に示すように、航行中の2隻の船舶が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
(3) Aはできる限り速力を上げて、Bの船首方向を横切る。
(4) Bは操業を一時やめてエンジンを停止し、Aの通過を待つ。

…………答 (1)

⑧右図に示すように、航行中の2隻の船舶が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
(3) Aはできる限り速力を上げて、Bの船首方向を横切る。
(4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

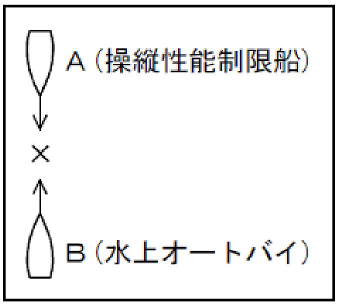
…………答 (1)

⑨航行中の水上オートバイと漁ろうに従事している船舶が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

(1) 互いに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(2) 互いに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
(3) 漁ろうに従事している船舶が水上オートバイの進路を避ける。
(4) 水上オートバイが漁ろうに従事している船舶の進路を避ける。

…………答 (4)

⑩右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
(2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
(3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

…………答 (2)

⑪航行中の水上オートバイと帆船が真向かいに行き会い、衝突するおそれがある場合の航法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

(1) 両船ともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(2) 両船ともに針路を風下側に転じ、他船の進路を避ける。
(3) 水上オートバイが帆船の進路を避け、帆船は針路、速力を保つ。
(4) 帆船が水上オートバイの進路を避け、水上オートバイは針路、速力を保つ。

…………答 (3)

⑫航行中の水上オートバイと操縦性能制限船が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。 **(海上衝突予防法)**

(１) 互いに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。

(２) 互いに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

(３) 操縦性能制限船が水上オートバイの進路を避ける。

(４) 水上オートバイが操縦性能制限船の進路を避ける。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (4)**

問 16 見張り･安全な速力･衝突のおそれ

①安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として定められているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(1) 自船の定員　(2) 帰港予定時刻　(3) 自船の操縦性能　(4) 目的地までの距離

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (3)**

②近づいてくる他の船舶と衝突するおそれがあるかどうかを確かめることができない場合は、どのようにしなければならないか。次のうちから正しいものを選べ。 **(海上衝突予防法)**

(1) 衝突するおそれはないと判断しなければならない。

(2) 衝突するおそれがあると判断しなければならない。

(3) 速力を上げて近づかなければならない。

(4) 相手船の行動を待たなければならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (2)**

③近づいてくる他の船舶と衝突するおそれがあると判断しなければならないのは、次のうちどの場合か。(海上衝突予防法)

(1) 他の船舶の針路が変わらない場合　(2) 他の船舶の速力が変わらない場合

(3) 他の船舶の見える方位が変わらない場合　(4) 他の船舶との距離が変わらない場合

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (3)**

④安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されているものは、次のうちどれか。

(海上衝突予防法)

(1) 他船の速力　(2) 帰港予定時刻　(3) 視界の状態　(4) 目的地までの距離

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (3)**

⑤安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されていないものは、次のうちどれか。

(海上衝突予防法)

(1) 視界の状態　(2) 船舶交通の混み具合　(3) 自船の操縦性能　(4) 帰港予定時刻

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (4)**

⑤見張りについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

(1) 航行中、錨泊(びょうはく)中にかかわらず、いつでも行う。

(2) 広い水域を航行している場合は、視覚だけで行う。

(3) そのときの状現に適したすべての手段により行う。

(4) 前方だけでなく、すべての方向に対して行う。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (2)**

⑥見張りについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

(1) エンジンを止めて漂泊しているときも行う。

(2) 前方だけでなく、すべての方向に対して行う。

(3) 船舶の通航が多い水域に差しかかったら行う。

(4) 視覚や聴覚など、そのときの状況に適したすべての手段により行う。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・・∵・・・∴**答 (3)**

⑦衝突のおそれについて述べた次の文の(　　)の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。
「近づいてくる他の船舶の(　　)に明確な変化がないときは、衝突するおそれがあるものと判断しなければならない。」
(海上衝突予防法)

(1) 針路　(2) 速力　(3) 方位　(4) 大きさ

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

⑧他の船舶と衝突するおそれがあるかどうかを確かめることができない場合は、どのように判断しなければならないか。次のうちから選べ。　(海上衝突予防法)

(1) 自船が保持船である。　(2) 自船が避航船である。
(3) 衝突するおそれがある。　(4) 衝突するおそれはない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

⑨見張りについて述べた次の文のうち、適切なものはどれか。(海上衝突予防法)

(１) 航行中は、まわりに船が見えるときだけ行う。
(２) 広い水域を航行している場合は、目視だけで行う。
(３) 船舶の通航が多い水域に差しかかったら行う。
(４) 前方だけでなく、すべての方向に対して行う。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑩見張りについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

(1) 目や耳など、そのときの状況に適したすべての手段により行う。
(2) 航行中は、まわりに船が見えるときだけ行う。
(3) 航行中、錨泊(びょうはく)中にかかわらず、注意深く行う。
(4) 視界の状態にかかわらず、適切に行う。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

⑪衝突のおそれについて述べた次の(Ａ)と(Ｂ)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。(海上衝突予防法)

(Ａ) 近づいてくる他の船舶の見える方位が変わらない場合は、衝突するおそれがあると判断しなければならない。
(Ｂ) 接近してくる他の船舶と衝突するおそれがあるかどうかを確かめることができない場合は、衝突するおそれはないものと判断しなければならない。

(１) (Ａ)だけ正しい　(２) (Ｂ)だけ正しい　(３) ともに正しい　(４) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

⑫安全な速力について説明した次の文のうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

(１) 衝突を避けるための動作がとれる速力　(２) 自船の性能の半分の速力
(３) 12ノット以下の速力　(４) 他船に危険を及ぼさない速力

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

⑬安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(１) 船舶交通の混み具合　(２) 船長の年齢
(３) 他船の速力　(４) 目的地までの距離

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

問 17　狭い水道・視界制限状態

①右図に示すように、狭い水道等のわん曲部に接近する船舶が行った次の動作のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

(1) エンジンを直ちに操作できるようにした。
(2) 耳をすまし、見張りを厳重にした。
(3) 短音2回の汽笛信号を繰り返し鳴らした。
(4) 右岸側へ寄って航行した。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

②水上オートバイで狭い水道等を航行するときの航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。(海上衝突予防法)

(A) 狭い水道等では、その水道等の右側端に寄って航行しなければならない。

(B) 狭い水道等では、漁ろうに従事している船舶の進路を避けなければならない。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

③狭い水道等における航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

(海上衝突予防法)

(A) できる限り、狭い水道等の左側端に寄って航行しなければならない。

(B) 前方が確認できないわん曲部を航行する場合は、十分に注意して航行しなければならない。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

④狭い水道等における航法について述べた次の文の(　　)の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。(海上衝突予防法)

「狭い水道等をこれに沿って航行する船舶は、できる限り、その水道等の(　　　)に寄って航行しなければならない。」

(1) 右側端 (2) 左側端 (3) 中央 (4) 内側

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

⑤視界制限状態の水域を航行する場合の措置について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。(海上衝突予防法)

(A) 視界制限状態になったときは、できる限りそのときの速力を保たなければならない。

(B) 他船の霧中信号を聞いたときは、直(ただ)ちに針路を左に転じなければならない。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑥狭い水道等における航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

(海上衝突予防法)

(A) 航行中の水上オートバイは、帆船の進路を避けなければならない。

(B) できる限り、狭い水道等の右側端に寄って航行しなければならない。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

⑦視界制限状態の水域を航行する場合の注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。(海上衝突予防法)

(A) エンジンを直ちに操作することができるようにしておかなければならない。

(B) 他船の霧中信号を聞いたときは、エンジンを直ちに停止しなければならない。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

⑧狭い水道等における航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

(海上衝突予防法)

(A) できる限り、狭い水道等の右側端に寄って航行しなければならない。

(B) 前方が確認できないわん曲部は、できる限り速力を上げて早めに通過しなければならない。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

⑨視界制限状態の水域を航行中、自船の正横より前方に他の船舶の霧中信号を聞いた場合は、どのような行動をとらなければならないか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

(1) 他船が見える距離まで近づく。　(2) 大幅に右転する。

(3) 舵(かじ)が効く最小限度の速力とする。　(4) 大幅に左転する。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

⑩動力船が濃い霧の中を航行する場合に行う措置として誤っているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(1) 見張りを厳重にする。　(2) 短音1回の汽笛信号を繰り返し行う。
(3) 法定灯火を表示する。　(4) エンジンを直ちに操作できるようにする。

……**答 (2)**

⑪狭い水道等における航法について述べた次の文の(　　)の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。(海上衝突予防法)

「船舶は、狭い水道においては、やむを得ない場合を除き(　　)をしてはならない。」

(1) 高速航行　(2) 錨 泊　(3) 漁ろう　(4) 追越し

……**答 (2)**

⑫長さ20メートル未満の動力船で狭い水道等を航行する場合の航法について述べた次の(Ａ)と(Ｂ)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。(海上衝突予防法)

(Ａ) できる限り、狭い水道等の右側端に寄って航行しなければならない。

(Ｂ) 狭い水道等の内側でなければ安全に航行できない他の動力船の通航を妨げてはならない。

(１) (Ａ)だけ正しい　(２) (Ｂ)だけ正しい　(３) ともに正しい　(４) ともに誤っている

……**答 (3)**

⑬他の船舶の動きをよく判断することができない次の状態のうち、「視界制限状態」に該当しないものはどれか。(海上衝突予防法)

(１) 降 雪　(２) 暴風雨　(３) も や　(４) 波しぶき

……**答 (4)**

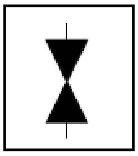
問 18　形象物･信号

①他船との衝突を避けるため、針路を左に転じている船舶が行わなければならない汽笛信号は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(1) 短音1回　(2) 短音2回　(3) 短音3回　(4) 短音5回

……**答 (2)**

②昼間、右図の形象物を表示している船舶は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



(1) 操縦性能制限船　(2) 船舶等を引いている動力船
(3) 錨泊中の船舶　(4) 漁ろうに従事している船舶

……**答 (4)**

③他船との衝突を避けるため、エンジンを後進にかけている船舶が行わなければならない汽笛信号は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(1) 短音1回　(2) 短音2回　(3) 短音3回　(4) 短音5回

……**答 (3)**

④「左右に伸ばした腕を繰り返しゆっくりと上下させることによる信号」は、どのようなことを意味しているか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

(1) これから出港しようとしている。　(2) これから錨泊しようとしている。
(3) 他船に速力を落とすよう求めている。　(4) 遭難して救助を求めている。

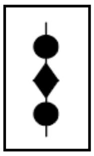
……**答 (4)**

⑤短音3回の汽笛信号を行っているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

(1) 針路を右に転じている船舶　(2) 針路を左に転じている船舶
(3) エンジンを後進にかけている船舶　(4) 他船の動作が理解できない船舶

……**答 (3)**

⑥昼間、右図の形象物を表示しているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)



(1) 操縦性能制限船　(2) 船舶等を引いている動力船
(3) 錨泊中の船舶　(4) 漁ろうに従事している船舶

……**答 (1)**

⑦急速に短音5回以上の汽笛信号を行っているのは、どのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

(1) 針路を右に転じている船舶　　(2) 針路を左に転じている船舶
(3) エンジンを後進にかけている船舶　　(4) 他船の動作が理解できない船舶

……答 (4)

⑧昼間、錨泊して釣りをしている船舶が表示しなければならない形象物は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

……答 (1)

⑨「赤色の手持ち炎火による信号」は、どのようなことを意味しているか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

(1) これから錨泊(びょうはく)しようとしている。　　(2) 他船の進路を横切ろうとしている。
(3) これから出港しようとしている。　　(4) 遭難して救助を求めている。

……答 (4)

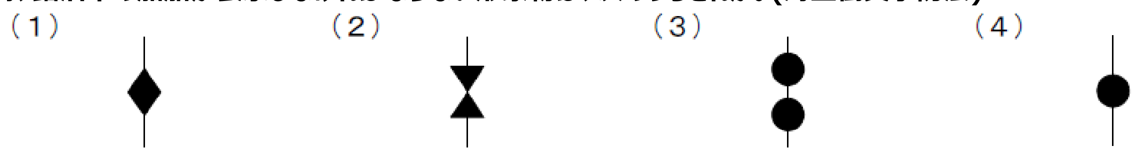
⑨昼間、漁労に従事している船舶が表示しなければならない形象物は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

……答 (4)

⑩昼間、船舶などを引いている航行中の動力船(曳航物件の後端までの距離が200メートルを超える)が表示している形象物は、次のうちどれか。　(海上衝突予防法)

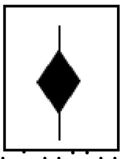
……答 (2)

⑪昼間、錨泊(びょうはく)中の船舶が表示しなければならない形象物は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



……答 (4)

⑫昼間、右図の形象物1個を表示しているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)



(1) 操縦性能制限船　　(2) 船舶等を引いている動力船
(3) 錨泊中の船舶　　(4) 漁ろうに従事している船

……答 (2)

⑬短音2回の汽笛信号を行っているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

(1) 針路を右に転じている船舶　　(2) 針路を左に転じている船舶
(3) エンジンを後進にかけている船舶　　(4) 他船の動作が理解できない船舶

……答 (2)

⑭衝突するおそれがある他の船舶の意図を理解することができない船舶が行わなければならない汽笛信号は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

(1) 短音1回　(2) 短音2回　(3) 短音3回　(4) 急速に短音5回以上

……答 (4)

⑮短音１回の汽笛信号を行っているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

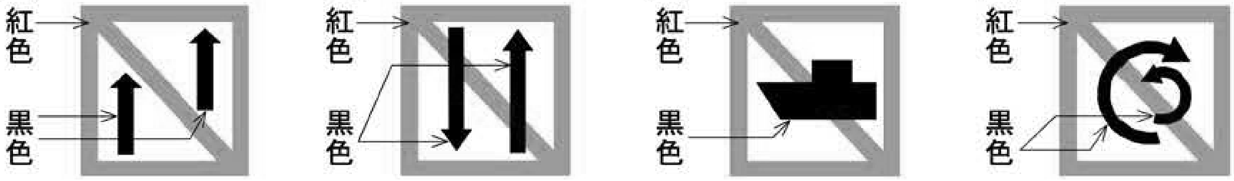
(１) 針路を右に転じている船舶　　(２) 針路を左に転じている船舶
(３) エンジンを後進にかけている船舶　　(４) 他船の動作が理解できない船舶

……答 (1)

問 19 都道府県条例

①次の河川通航標識のうち「行会い・追越し禁止」を表すものはどれか。(河川法)

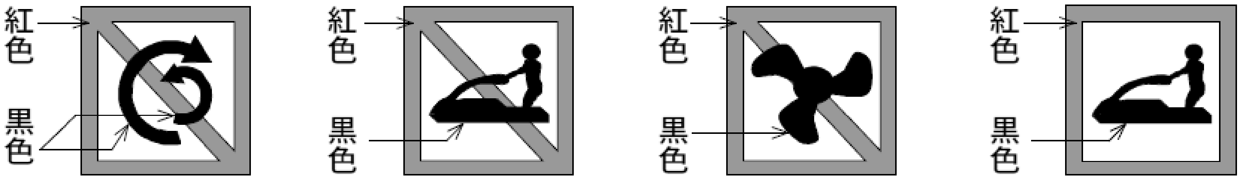
(1)　(2)　(3)　(4)



…………………………………………答 (2)

②次の河川通航欄識のうち「水上オートバイ禁止」を表すものはどれか。(河川法)

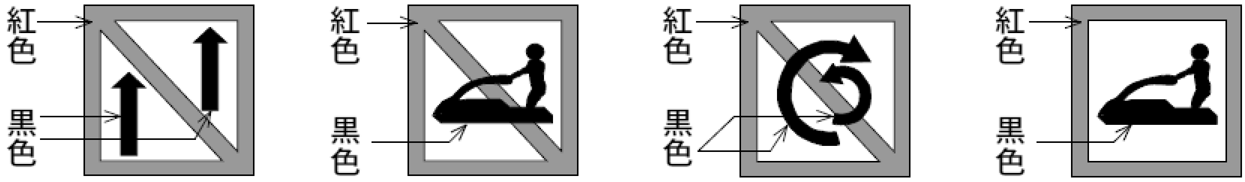
(1)　(2)　(3)　(4)



…………………………………………答 (2)

③次の河川通航標識のうち「水上オートバイ通航方法制限」を表すものはどれか。(河川法)

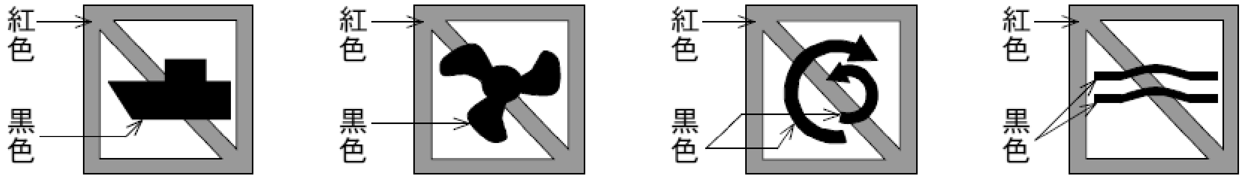
(1)　(2)　(3)　(4)



…………………………………………答 (4)

④次の河川通航標識のうち「引き波禁止」を表すものはどれか。(河川法)

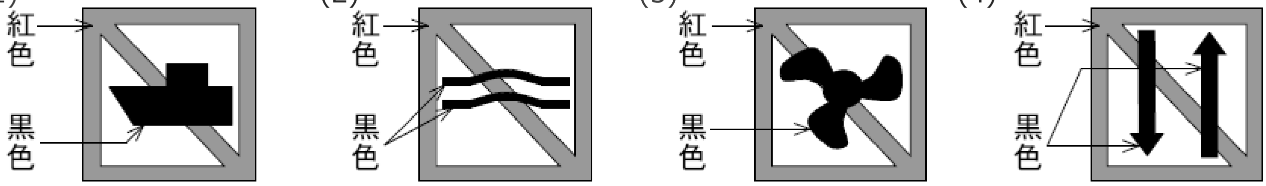
(1)　(2)　(3)　(4)



…………………………………………答 (4)

⑤次の河川通航標識のうち「船舶等通航禁止」を表すものはどれか。(河川法)

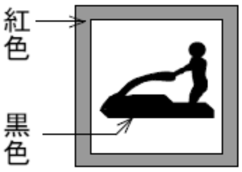
(1)　(2)　(3)　(4)



…………………………………………答 (1)

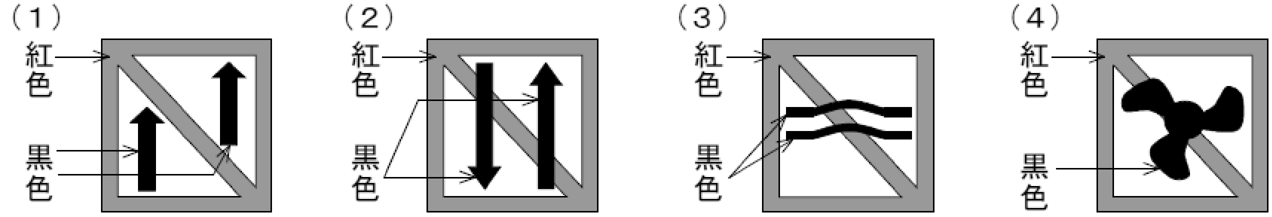
⑥右図に示す河川通航標識の表す意味は、次のうちどれか。(河川法)

(1) 水上オートバイ通航方法制限　(2) 動力船通航禁止
(3) 水上オートバイ禁止　(4) 船舶等通航禁止



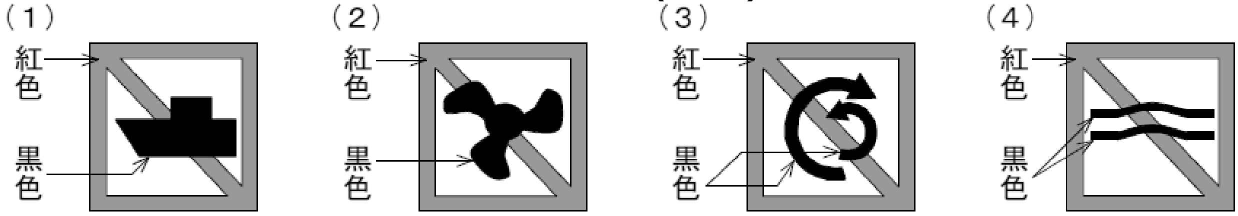
…………………………………………答 (1)

⑦次の河川通航標識のうち「追越し禁止」を表すものはどれか。（河川法）



……答 (1)

⑧次の河川通航標識のうち「引き波禁止」を表すものはどれか。（河川法）

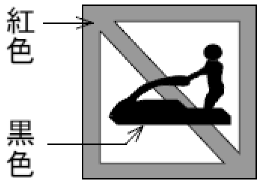


……答 (4)

⑨右図に示す河川通航標識の表す意味は、次のうちどれか。（河川法）

（1）水上オートバイ通航方法制限　（2）動力船通航禁止

（3）水上オートバイ禁止　（4）船舶等通航禁止



……答 (3)

⑩河川や湖沼（こしょう）における交通の方法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

（1）条例によって、急旋回などの危険行為を禁止している地方自治体がある。

（2）条例によって、指定水域での航行を制限している地方自治体がある。

（3）河川や湖沼における交通の方法には、海上交通安全法は適用されない。

（4）交通の方法を定めた条例には、罰則についての規定がない。

……答 (4)

⑪水上安全に関する条例について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

（1）海上衝突予防法や港則法が適用されない内水域での交通の方法について規定している。

（2）水上オートバイの操縦者に対して、指定した講習の受講を義務付けている条例がある。

（3）水上交通の安全や遊泳者の保護などを目的とした条例である。

（4）条例に違反した者の取締りは、国土交通省が行っている。

……答 (4)

⑫河川や湖沼における交通の方法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

（1）一部の河川には、船舶の通航方法を示す標識が設置されている。

（2）内水面における違反者の取締りは、海上保安庁が行っている。

（3）条例により、水上オートバイの危険行為を禁止している地方自治体がある。

（4）条例には、懲役（ちょうえき）や罰金などの罰則規定が設けられているものがある。

……答 (2)

⑬河川や湖沼における交通の方法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

（1）条例によって、内水域における交通の方法を定めている地方自治体がある。

（2）条例によって、急旋回などの危険行為を禁止している地方自治体がある。

（3）条例によって、船舶の航行を制限する水域を設けている地方自治体がある。

（4）河川や湖沼における交通の規定に、海上交通安全法を適用している地方自治体がある。

……答 (4)

⑭河川や湖沼(こしょう)における交通の方法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

(1) 水上安全条例によって、内水域における交通の方法を定めている地方自治体がある。

(2) 迷惑防止条例によって、急旋回等の危険行為を禁止している地方自治体がある。

(3) 環境保全を目的とした条例によって、指定水域での航行を制限している地方自治体がある。

(4) 河川や湖沼における交通の規定に、海上交通安全法を適用している地方自治体がある。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑮河川や湖沼(こしょう)における交通の方法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

(1) 迷惑防止条例によって、急旋回等の危険行為を禁止している地方自治体がある。

(2) 環境保全を目的とした条例によって、指定水域での航行を制限している地方自治体がある。

(3) 河川や湖沼における交通の方法には、海上交通安全法は適用されない。

(4) 地方自治体が定めた水上安全条例には、内水域における交通の方法は規定されていない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑯水上安全条例について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

(1) 水上安全指導員は、水上交通の安全や事故防止等についての指導や啓発を行っている。

(2) 水域利用者の遵守事項や船舶の交通の方法等について規定している。

(3) 条例に違反した者の取締りは、各都道府県の警察が行っている。

(4) 条例に違反した者に対す懲役(ちょうえき)や罰金などの罰則規定はない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑰河川や湖沼(こしょう)における交通の方法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

(1) 水上安全条例によって、内水域における交通の方法を定めている地方自治体がある。

(2) 迷惑防止条例によって、急旋回等の危険行為を禁止している地方自治体がある。

(3) 河川や湖沼における交通の方法には、海上交通安全法は適用されない。

(4) 内水域の環境保全を目的とした条例では、交通の方法については規定されていない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑱水上安全条例について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

(1) 条例に違反した場合には、懲役(ちょうえき)や罰金などの罰則が適用されることがある。

(2) 条例に違反した者の取締りは、各都道府県の警察が行っている。

(3) 水上交通の安全の確保や遊泳者の保護等を目的として制定されている。

(4) 条例が定められているのは、大きな湖がある県だけである。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑲水上安全条例について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

(1) 水上安全に関する指導や啓発を行うため、水上安全指導員を置く場合がある。

(2) 河川や湖沼(こしょう)における船舶の交通の方法について規定している。

(3) 条例に違反した者は、懲役(ちょうえき)や罰金などの罰則が適用される場合がある。

(4) 条例に違反した者の取締りは、海上保安庁が行っている。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

問 20 港内での一般的な航法

①港内の航路における航法として誤っているものは、次のうちどれか。(港則法)

(1) 航路外から航路に入ろうとする船舶は、航路を航行する船舶の進路を避けなければならない。

(2) 航路内で他の船舶と行き会うときは、航路の左側を航行しなければならない。

(3) 航路内では、他の船舶を追い越してはならない。

(4) 航路内では、他の船舶と横に並んで航行してはならない。

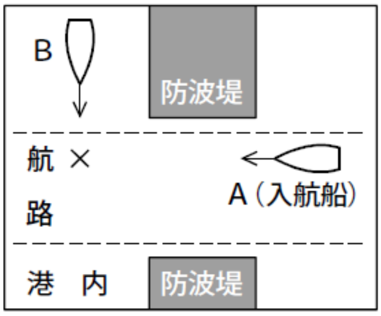
∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

②港内を航行する場合において、「港則法」に規定されていない事項については、どの法律の規定に従えばよいか。次のうちから選べ。

(1) 海上交通安全法 (2) 船舶安全法 (3) 海上衝突予防法 (4) 港湾法

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

③右図に示すように、港内の航路を航行しながら入航しようとするA船と、その航路を横切って航行しようとするB船が、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (港則法)



(1) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。

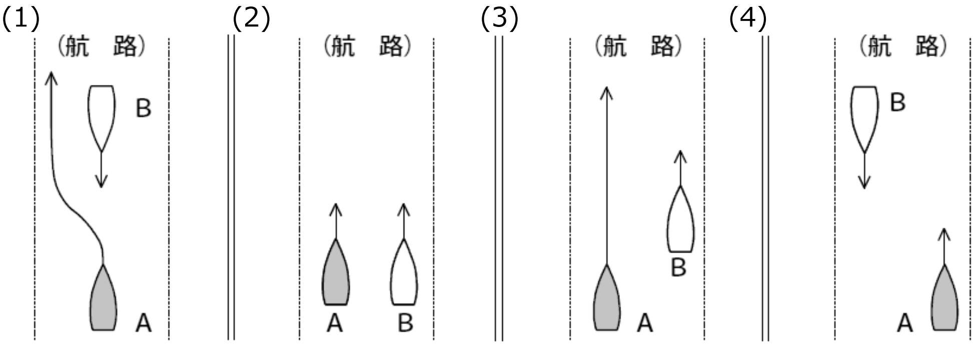
(2) 先に汽笛信号を行った船舶が、他船の進路を避ける。

(3) Aはそのまま入航し、BがAの進路を避ける。

(4) Bはそのまま航路を横切り、AがBの進路を避ける。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴ **答 (3)**

④下図は、A船とB船が港内の航路を航行している状況を示したものである。 A船の航路における航法として正しいものは、図(1)～(4)のうちどれか。 (港則法)



∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴ **答 (4)**

⑤港内の航路における航法として<u>誤っている</u>ものは、次のうちどれか。(港則法)

(1) 航路を航行する船舶は、航路外から航路に入ろうとする他船の進路を避けなければならない。

(2) 航路内で他の船舶と行き会うときは、右側を航行しなければならない。

(3) 航路内では、他の船舶と横に並んで航行してはならない。

(4) 航路内では、他の船舶を追い越してはならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴ **答 (1)**

⑥港則法が適用される「港内」について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

(1) 防波堤より内側の水域のことをいう。

(2) 岸壁から2海里以内の水域のことをいう。

(3) 海図に記された港界と防波堤との間の水域のことをいう。

(4) 港ごとに設定された港界より内側の水域のことをいう。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴ **答 (4)**

⑦港内における航法として<u>誤っている</u>ものは、次のうちどれか。(港則法)

(1) 港内では、他の船舶に危険を及ぼさないような速力で航行しなければならない。

(2) 航路内では、運転の自由を失ったときや、海難を避けるときなどを除き、投錨(とうびょう)してはならない。

(3) 防波堤の突端を右舷(うげん)に見るときは、できるだけこれから遠ざかって航行しなければならない。

(4) 汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるとき、入航船は、防波堤の外で出航船の進路を避けなければならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴ **答 (3)**

⑧港内における航法について述べた次の文の(　　)の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「船舶は、港内においては、防波堤などの突端や停泊船舶を(　　)に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。」 (港則法)

(1) 右舷(うげん)　(2) 左舷　(3) 風上側　(4) 風下側

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴ **答 (1)**

⑨港内における航法として<u>誤っている</u>ものは、次のうちどれか。(港則法)

(1) 航路内では、人命救助のときや運転の自由を失ったときなどを除き、投錨してはならない。

(2) 汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるときは、入航船は、出航船の進路を避けなければならない。

(3) 港内において、防波堤の突端を右舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

(4) 港内や港の境界付近では、12ノットを超える速力で航行してはならない。

答 (4)

⑩港内における航法として<u>誤っている</u>ものは、次のうちどれか。(港則法)

(1) 航路内では、人命救助のときや運転の自由放ったときなどを除き、投錨してはならない。

(2) 汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるとき、出航船は、入航船の進路を避けなければならない。

(3) 港内や港の境界付近では、他の船舶に危障を及ぼさないような速力で航行しなければならない。

(4) 防波堤の突端を右舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

答 (2)

⑪港内における航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)

(1) 航路内では、どのような場合でも、投錨してはならない。

(2) 2隻の汽船が港の防波堤の入口付近で出会うおそれのあるとき、入航船は防波堤の外で出航船の進路を避けなければならない。

(3) 港内や港の境界付近では、12ノットを超える速力で航行してはならない。

(4) 港内において、防波堤の突端を左舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

答 (2)

⑫港内における航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)

(1) 港内では、他の船舶に危険を及ぼさないような速力で航行しなければならない。

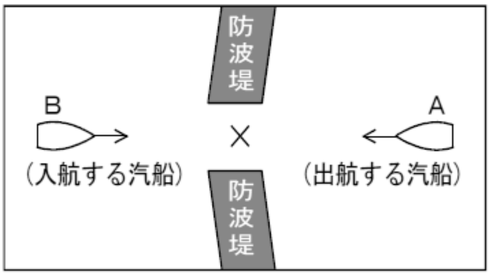
(2) 航路内では、どのような場合でも、投錨してはならない。

(3) 防波堤の突端を左舷に見るときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

(4) 汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるとき、出航船は、防波堤の内で入航船の進路を避けなければならない。

答 (1)

⑬右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が×印の付近で出会うおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)



(1) Aは防波堤の内でBを避け、Bはそのまま入航する。

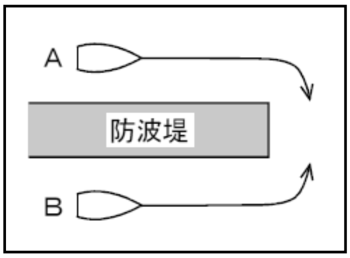
(2) Bは防波堤の外でAを避け、Aはそのまま出航する。

(3) A、Bともに右側に寄って航行する。

(4) A、Bともに左側に寄って航行する。

答 (2)

⑭港内を、右図に示すように航行する場合のA、B両船の航法として正しいものは、次のうちどれか。　(港則法)



(1) A、Bともに防波堤から遠ざかって航行する。

(2) Aは防波堤から遠ざかって航行し、Bは防波堤に近寄って航行する。

(3) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

(4) Aは防波堤に近寄って航行し、Bは防波堤から遠ざかって航行する。

答 (4)

⑮港内において、「港則法」と「海上衝突予防法」との規定の間に異なる解釈が生じたときは、どの法律の規定に従えばよいか。次のうちから選べ。

(1) 海上衝突予防法　(2) 海上交通安全法　(3) 船舶安全法　(4) 港則法

答 (4)

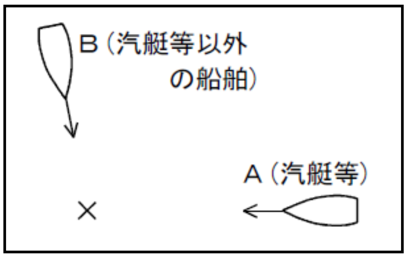
問 21 汽艇等･防波堤の突端付近の航法

①港内において、汽艇等と汽艇等以外の船舶が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (港則法)

(1) 互いに針路を右に転じる。
(2) 互いに針路を左に転じる。
(3) 汽艇等が、汽艇等以外の船舶の進路を避ける。
(4) 汽艇等以外の船舶が、汽艇等の進路を避ける。

…………………………………………………………………**答 (3)**

②右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (港則法)



(1) Aは針路、速力を保ち、BがAの進路を避ける。
(2) Bは針路、速力を保ち、AがBの進路を避ける。
(3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(4) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

…………………………………………………………………**答 (2)**

③「汽艇等」について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。 (港則法)

(1) みだりに係船浮標や他の船舶に係留してはならない。
(2) 港内では、汽艇等以外の船舶の進路を避けなければならない。
(3) みだりに船舶交通の妨げとなるような場所に停泊してはならない。
(4) 特定港に出入りするときは、航路を航行しなければならない。

…………………………………………………………………**答 (4)**

④港内において、汽艇等と汽艇等以外の船舶が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (港則法)

(1) 互いに針路を右に転じる。
(2) 互いに針路を左に転じる。
(3) 汽艇等が、汽艇等以外の船舶の進路を避ける。
(4) 汽艇等以外の船舶が、汽艇等の進路を避ける。

…………………………………………………………………**答 (3)**

⑤港内において、防波堤の突端にできるだけ近寄って航行しなければならないのはどのようなときか。次のうちから選べ。(港則法)

(1) 防波堤の突端を左舷に見るとき　(2) 防波堤の突端付近で他船の進路を避けるとき
(3) 防波堤の突端を右舷に見るとき　(4) 防波堤の突端付近で他船に追い越されるとき

…………………………………………………………………**答 (3)**

⑥港内における次の規定のうち、汽艇等に適用されないものはどれか。 (港則法)

(1) みだりに係船浮標もしくは他の船舶に係留してはならない。
(2) 特定港に出入し、又は通過する場合は、航路を航行しなければならない。
(3) 船舶交通の妨げとなる場所で、みだりに漁ろうをしてはならない。
(4) みだりに汽笛又はサイレンを吹き鳴らしてはならない。

…………………………………………………………………**答 (2)**

⑦港内における航法として誤っているものは、次のうちどれか。(港則法)

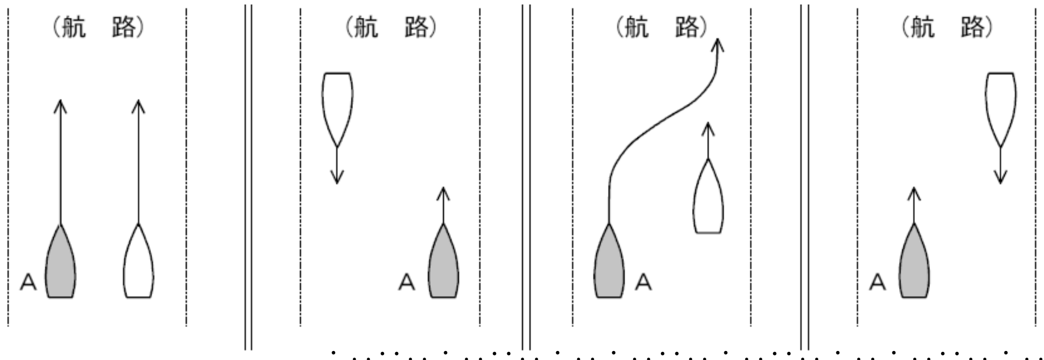
(1) 汽艇等は、汽艇等以外の船舶の進路を避けて航行しなければならない。
(2) 汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるとき、出航船は、入航船の進路を避けなければならない。
(3) 港内や港の境界付近では、他の船舶に危険を及ぼさないような速力で航行しなければならない.
(4) 防波堤の突端を右舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

…………………………………………………………………**答 (2)**

⑧下図は、港内の航路を航行する2隻の船舶の状況を示したものである。A船がとった航法として正しいものはどれか。

(港則法)

(1)　(2)　(3)　(4)



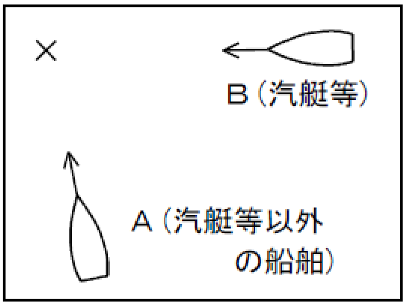
∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴答 (2)

⑨水上オートバイが、やむを得ず港内の航路を航行する場合にとらなければならない航法として誤っているものは、次のうちどれか。　(港則法)

(1) 航路外から航路に入るときは、航路を航行する他の船舶の進路を避けなければならない。
(2) 航路を航行する他の船舶と横に並んで航行してはならない。
(3) 航路を航行する他の船舶を追い越してはならない。
(4) 航路を航行する他の船舶と行き会うときは、航路の左側を航行しなければならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴答 (4)

⑩右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)



(1) Aは針路、速力を保ち、BがAの進路を避ける。
(2) Bは針路、速力を保ち、AがBの進路を避ける。
(3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
(4) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴答 (4)

⑪汽艇等の航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。(港則法)

(A) 汽艇等は、港内においては、汽艇等以外の船舶の進路を避けなければならない。
(B) 汽艇等は、特定港内を航行するときは、航路を航行しなければならない。

(1) (A)だけ正しい　(2) (B)だけ正しい　(3) ともに正しい　(4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴答 (1)

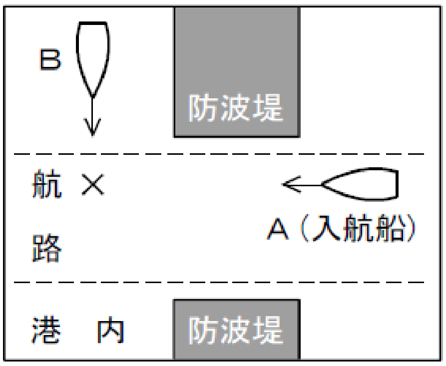
⑫港内の航路における航法として正しいものは、次のうちどれか。 (港則法)

(1) 航路を航行する船舶は、航路外から航路に入ろうとする他船の進路を避けなければならない。
(2) 航路内で他の船舶と行き会うときは、左側を航行しなければならない。
(3) 航路内では、他の船舶と横に並んで航行してはならない。
(4) 航路内では、引き波を立てるような速力で航行してはならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴答 (3)

⑬右図に示すように、港内の航路を航行しながら入航しようとするＡ船と、その航路を横切って航行しようとするＢ船が、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。（港則法）

（１） Ａ、Ｂともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
（２） 先に汽笛信号を行った船舶が、他船の進路を避ける。
（３） Ａはそのまま入航し、ＢがＡの進路を避ける。
（４） Ｂはそのまま航路を横切り、ＡがＢの進路を避ける。



∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（3）**

問 22　海上交通安全法

①海上交通安全法が適用されない海域は、次のうちどれか。
(1) 函館湾（はこだてわん）　(2) 東京湾（とうきょうわん）　(3) 伊勢湾（いせわん）　(4) 瀬戸内海（せとないかい）

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（1）**

②海上交通安全法が適用される海域は、次のうちどれか。
(1) 函館湾（はこだてわん）　(2) 伊勢湾（いせわん）　(3) 駿河湾（するがわん）　(4) 鹿児島湾（かごしまわん）

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（2）**

③海上交通安全法で定められた航路における一般的航法として誤っているものは、次のうちどれか。
(1) すべての動力船は、航路を航行しなければならない。
(2) 12ノットを超える速力で航行してはならない航路の区間がある。
(3) 横断してはならない区間が定められている航路がある。
(4) 航路では、海難を避けるときなどを除いて、びょう泊をしてはならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（1）**

④海上交通安全法が適用される海域は、次のうちどれか。
(1) 阿蘇海（あそかい）　(2) 有明海（ありあけかい）　(3) 瀬戸内海（せとないかい）　(4) オホーツク海（かい）

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（3）**

⑤海上交通安全法が適用されない海域は、次のうちどれか。
(1) 東京湾（とうきょうわん）　(2) 伊勢湾（いせわん）　(3) 瀬戸内海（せとないかい）　(4) 鹿児島湾（かごしまわん）

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（4）**

⑥海上交通安全法で定められた航路における一般的な航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判定し、下のうちから当てはまるものを選べ。
(A) 水上オートバイが航路を横断する場合は、航路を航行中の船舶の通航を妨（さまた）げてはならない。
(B) 水上オートバイが航路を航行する場合は、航路に沿わず、自由に走行することができる.
(1) (A)のみ正しい　(2) (B)のみ正しい　(3) ともに正しい　(4) ともに誤っている

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（1）**

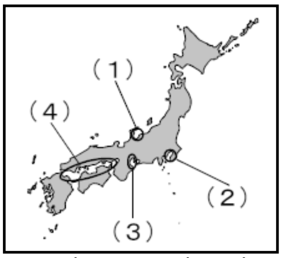
⑦航路をこれに沿って航行している船舶の進路を避けなければならない船舶に該当しないものは、次のうちどれか。
（海上交通安全法）
(1) 航路外を航路に沿って航行する船舶　　(2) 航路外から航路に入る船舶
(3) 航路から航路外に出る船舶　　(4) 航路を横断しようとする船舶

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（1）**

⑧海上交通安全法で定められた航路における一般的航法として誤っているものは、次のうちどれか。
(1) 航路外から航路に入ろうとする動力船は、航路をこれに沿って航行している他の船舶の進路を避けなければならない。
(2) 航路を横断する場合は、できるだけ直角に近い角度で、すみやかに横断しなければならない。
(3) 長さ50メートル以上の船舶は、航路を航行しなければならない。
(4) 航路内では、長さ100メートル未満の船舶を除き、追い越しをしてはならない。

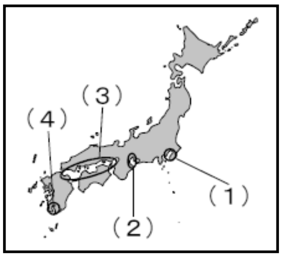
∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴**答（4）**

⑨右の概略の日本地図に示した海域(1)～(4)のうち、海上交通安全法が適用されない海域はどれか。



∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

⑩右の概略の日本地図に示した海域(1)～(4)のうち、海上交通安全法が適用されない海域はどれか。



∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (4)**

⑪海上交通安全法に規定された航路における一般的航法に該当しないものは、次のうちどれか。

(1) 速力の制限　(2) 転舵(てんだ)の制限　(3) 横断の制限　(4) 錨泊(びょうはく)の禁止

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

⑫海上交通安全法で定められた航路における一般的航法として誤っているものは、次のうちどれか。

(1) 航路を横断しようとする船舶は、航路をこれに沿って航行している船舶の進路を避けなければならない。

(2) 汽笛を備えている船舶は、航路内で他の船舶を追い越そうとするときは、追越しの場合の信号を行わなければならない。

(3) 全航路の全区間において、航路内は12ノット以下の速力で航行しなければならない。

(4) 航路では、海難を避けるときや、他の船舶を救助するときなどを除いて、錨泊(びょうはく)してはならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (3)**

⑭海上交通安全法で定められた航路における一般的航法として正しいものは、次のうちどれか。

(1) 長さ50メートル以上の船舶は、航路を航行しなければならない。

(2) 航路では、すべての船舶は追い越しをしてはならない。

(3) 航路を横断するときは、艇が効く程度の速力で航行しなければならない。

(4) 航路では、どのようなときでも錨泊(びょうはく)をしてはならない。

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (1)**

⑮海上交通安全法に規定された航路を航行しなければならない船舶は、次のうちどれか。

(1) 速力12ノット以上で航行できる船舶　(2) 長さ50メートル以上の船舶

(3) 総トン数20トン以上の船舶　(4) 汽笛装置を備えた船舶

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**

⑯海上交通安全法が適用される海域は、次のうちどこか。

(1) 富山湾(とやまわん)　(2) 東京湾(とうきょうわん)　(3) 鹿児島湾(かごしまわん)　(4) 駿河湾(するがわん)

∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴・・∵・・∴・・∴・・∵・・∴**答 (2)**